

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.105 2003. 6

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集 オフィス古紙



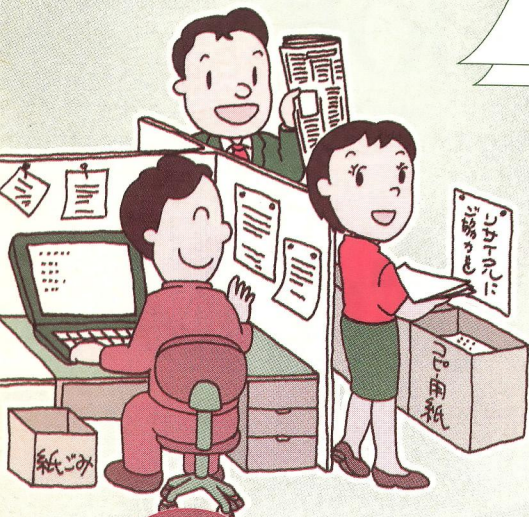
● 「G30の実現に向けて」 3つの提案 — P6

● 教えて聞かせて — P3

● リサイクルデザイナー — P7
～この道50年のベテラン～

● 今年も環境絵日記募集します — P8

オフィス古紙



オフィス古紙ってなあに？

オフィス古紙とはオフィス（会社・商店・ホテル・病院・学校・工場・事務所など）から出る新聞、その業種の専門雑誌、パンフレット、伝票やメモ、コピーに使われた紙、ダンボールなどをいいます。

前回のリサイクルデザイン104号では「横浜G30プラン」における一般家庭のごみ減量の取り組みを提案してきました。では市内に約11万7千あるといわれる会社や工場、商店、ホテル、病院や学校などから出るごみはどうなっているのでしょうか。ちょっと想像するだけでも家庭よりごみの量が多いのはご承知のとおり。横浜のごみ30%減量を実現させるにはこれらオフィスの協力は欠かせません。そのまま出せばごみ、分別すれば資源となるのは家庭と同じはず。あなたの学校、職場、そして家族の勤めるオフィスではごみを分別していますか？

今回はオフィスから出るごみの中でもっとも取り組みやすいと言われる紙ごみ（オフィス古紙）のリサイクルがどのように行われているか、市、リサイクル業者、オフィスそれぞれの取り組みについて調べてみました。

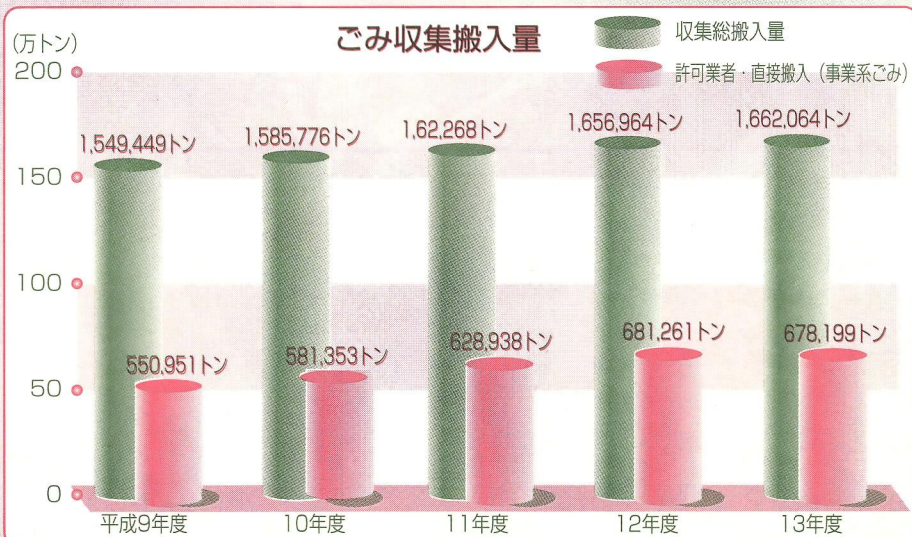
オフィス古紙のリサイクルを進めるために

横浜市内で出るごみのうち、オフィスから出るごみの量は平成13年度で67万8199トンにもなります。（グラフ参照）これらオフィスから出るごみは資源となるものを含めすべて「事業系ごみ」と呼ばれ、法律や市の条例で自分の責任で処理することが義務づけられています。オフィスの責任者は市から認可を受けた処理業者に収集を依頼するか、自分で市のごみ工場に有料で持ち込んで処理しなければなりません。そのため大量にごみが出る大規模の会社や病院では必ずごみの責任者（廃棄物管理責任者）がいます。この責任者がオフィスから出た古紙をごみとするか、資源とするかの力を握っているのです。こうした事業系ごみの中で紙ごみの占める割合は全体の約30%。家庭から出る容器包装ごみとともに、オフィスの紙ごみの資源化がG30の実現にはぜひとも必要です。

家庭と違うのはリサイクルにむいた上質な紙が大量に出ること。これをリサイクルに回さないではありません。20年前はほとんど回収されていなかったオフィス古紙も、リサイクル意識の高まる中で少しずつ回収量が増えています。



感熱紙・紙コップなどは、リサイクルできない」と思いこんでいる人も多いため、これらの古紙がごみになってしまいがちです。こういった認識不足を改めてもらうために、これまで年1回だったごみに関する講習会をごみの種類別に年数回に増やし、リサイクルに関する知識の向上も目指しています。



オフィス古紙のリサイクル率を高めるために

リサイクルの進む規模の大きいオフィスに比べ、小さな事務所や小さなテナントが入った複合ビルなどでは、古紙を溜めておくスペースがなかったり、一度に出る量の少なさなどから回収が

進んでいません。ごみの責任者もいないので古紙回収が徹底していないのが現状です。そこで市は、そういった小さなオフィスのごみを扱う処理業者に向けて、ごみ分別の講習会を年に数回、開く予定です。講習を受けた処理業者

から小さなオフィスへとリサイクルの方法やその意識を広げていくことを狙っています。

横浜資源化協議会ではこうした古紙回収の進んでいない小さなオフィスに対しても、具体的なプランを立てオフィス古紙回収のリサイクルを進めています。

オフィス古紙はどうやってリサイクルされるの？

～横浜資源化協議会の場合～

古紙を分別、リサイクルしようとするオフィスは…

協議会実行本部が現在のごみの管理状況や処理方法を聞きます。

横浜資源化協議会に加入します。

オフィス古紙の回収日、効率の良い回収方法、コストなどについて打ち合わせます。

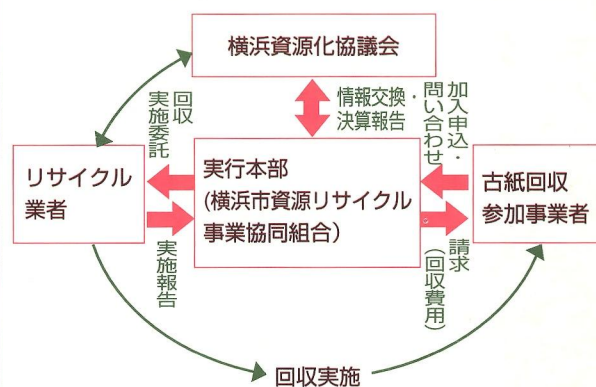
回収日に決められたオフィス古紙回収業者が資源回収に来ます。

回収した古紙を古紙問屋で梱包します。

古紙問屋から製紙工場へ運ばれます。

古紙再生品として生まれ変わります。

横浜資源化協議会古紙回収運営システム



古紙リサイクルに取り組んでいる

オフィスに聞きました ～相鉄本社の場合～

「10数年前に一般家庭でのごみ分別が言われ始めた頃、ほとんどのオフィスではちょうどバブルの時期でまだリサイクルの意識が低かったのです。その頃からわが社は相鉄線の緑園都市駅がごみ焼却場に近いこともあり、資源再生の重要性を感じて古紙の資源化に努めてきました。現在行っている分別方法は、各人の机の脇に資源回収用のボックスを置き一般ごみと分けて出すというものです。さらに資源回収のときにチェックして選り分けているので、ビルから出るときはきちんと分別されています。ずっと同じやり方で古紙をリサイクルしてきましたが、慣れてしまって意識が低くなっているところもあるので新しい方法も考慮中です」「オフィス古紙を資源回収することはもちろんですが、おおもとの『紙を無駄に使わない。紙ごみを出さない』ことが大切だと考えています。両面印刷やパソコンを使用することなどで、大量に出ていた古紙が今では多いときの3分の1に減りました。古紙をゼロにすることは難しいので、出ってしまった古紙は資源回収に出し、再生紙の製品を使うようにしています」

これからの時代、どんな企業でも環境に関心では成り立っていきません。ISOの取得も含め、環境やリサイクルに真摯な態度で取り組んでいくことが、企業イメージを上げ長く愛される企業になるための重要なポイントでしょう。それは昨今のテレビCMや広告で各社が「いかに環境に優しいか」をアピールしていることでも分かります。また、単にオフィス古紙を回収に出すだけでなく、オフィスで古紙再生品を使うことによってリサイクルの環がつながるのは言うまでもありません。

私たち横浜市民と同様、横浜にオフィスを構える人たちも、そこで働く人たちも今この場所から環境に取り組んで、7年後の平成22年に向けてごみ30%削減を達成させましょう。

横浜資源化協議会とは

平成6年より「横浜駅西口資源化協議会」として発足し、市内のオフィス古紙の資源化向上をめざして活動範囲を市内全域に拡大しました。実行本部は横浜市資源リサイクル事業協同組合にあり、古紙回収便の運行管理や料金清算などの基礎的業務を行っています。参加オフィスのリサイクル活動を進めるために専属スタッフをおき、リサイクルプランニングの提案をしています。

問い合わせ・加入申し込み

横浜資源化協議会 実行本部 045-316-4050



トコトンやったぞ、 そしてこれからも…!



前々号のこのページにも登場してもらった子どもたちの熱心な活動の様子をもうひとつとりあげます。昨年10月20日に開催された第8回リサイクルデザインフォーラム・日韓合同子ども環境会議に、彼らは“みんなに訴えたいこと”をひっさげてやってきました。しかし、当日は残念ながらその時間は取れずじまい。でも、先生と子どもたちはあきらめませんでした。その後の地道な働きかけは、半年後、しっかりと実を結んだのです。

理事長あてに届いたファックス

会議直後の10月22日、横浜市資源リサイクル事業協同組合の理事長あてに、子どもたちからファックスが届きました。始めのページには、かわいらしい字でこうありました。



「私たちは、20日のリサイクルデザインフォーラムに行きました。日本と韓国の共通点がわかってよかったです。しかし、私たちのもってきたみんなに広めたいことが発表できなかったのを見ていただきたいのですが、よろしいですか。お返事を私たちの学習に活かしたいので、よろしくお願いします」

ページをめくると、さらにこう続きます。

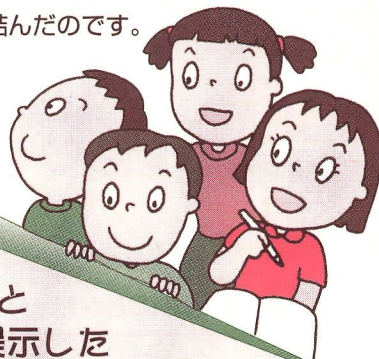


「今、町のごみが増え続けているから、びん・カンをボーイ捨てをやめてほしい」
「自分もリサイクルについて考える人なんだという自覚を持っている。会議ではペットボトルをあまり買わないよう呼びかけたい」
「コンポストで生ごみを肥料にできることを知ってほしい」



「リサイクルは世界みんなのキーワードというのがいい。世界で一番リサイクルに取り組んでいるのは日本みたいな感じに思っていたけど、実は韓国や他の世界のみんなもけっこうリサイクルしているんだとわかった」
「韓国はリサイクルがふうとうと思っているからちゃんとリサイクルできるのだと思いました。リサイクルへの関心は、やはり韓国はすばらしい。日本もこの会議を生かしてリサイクルをしていきたいです」

大人たちに “私たちの主張”と 質問状を提示した 横浜市内三ツ沢小学校 5年3組



感心し、感激する当組合に、さらに追って届いたのが“環境会議のビデオを見て”と題したファックス。当日会場に行けなかった児童も含め、クラスみんなで会議の様子をビデオで見た感想や、新たに湧いてきた疑問点をまとめたものでした。その一部をご紹介します。

ついに得た質問への確かな回答

前述の感想のほか、そこにはいくつかの韓国のリサイクルに対する質問がありました。当組合ではそれをフォーラムに協力してくれた韓国のリサイクル組合へ送りましたが、回答の得られぬまま月日は過ぎて。しかし年明けて4月半ば、好機を得ました。韓国のリサイクル組合が訪日し、当組合の案内で現場視察、意見交換などをおこなったのです。その席で質問した結果、専務理事の趙光勲さんから即座に回答をもらえました。

Q 韓国ではどんなふうに布のリサイクルをしていますか。

A アパートや団地の婦人会で回収し、洗濯して迷子のかawaiiそうな子どもたちの養護施設などに寄付しています。

Q リサイクルに取り組んだきっかけはなんですか。

A 環境を守るため。また、リサイクルを促進することで国の資源の節約になるから。

Q 種類別に回収するために、収集車も種類別なのですか。

A 収集車も種類別です。

Q リターナブルびんはありますか。

A もちろんあります。メーカーごとに、自分で作った飲料容器は自分で回収しています。

へこたれず追跡した 結果の収穫

春が来て、子どもたちは6年生になりました。昨秋に出した質問のこと、中にはすっかり忘れていた子もいるかもしれませんが。でも、すぐにあきらめず教室の外の世界に働きかけた結果、時間はかかりましたがこうして回答を得るという成果を生んだのです。大人たちの誠意ある対応は、子どもたちの心に「私たちにも何かできる」という自信を芽生えさせたはず。その達成感をバネに、これからもますます意見を発信していったほしいものです。



「ヨコハマはG30」推進本部

第1回会議 市長アピール

平成15年4月23日



350万市民の皆さん、市内の事業者の皆さん、そして職員の皆さん、横浜市は、循環型社会の実現に向け、「平成22年度における全市のごみ排出量を平成13年度に対して30%削減する」という具体的な目標を定め、全市をあげてG30行動を推進するため、今日ここに推進本部を立ち上げました。

推進本部の名称は、「ヨコハマはG30推進本部」としました。これから、私も先頭に立って、あらゆる機会に「ヨコハマはG30」を市民・事業者にアピールし、G30を浸透させ、G30を全市的な行動へと展開していきたいと考えています。

ごみ問題は、環境問題、資源・エネルギー問題でもあり、市政の中でも最重要課題の一つと考えています。中期政策プランでは、5つの重点戦略テーマの一つとして「未来に引き継ぐ環境資源」、を掲げ、持続可能な循環型社会を形成し、次の世代に良質な都市環境を継承するため、ごみの減量化・資源化などあらゆる分野において、市民・事業者・行政が協働し、環境行動に取り組む仕組みづくりをめざしています。

経済成長に伴って、物質的な豊かさが私たちにもたらされましたが、その一方で大量のごみを発生させ、環境への負荷も増大しています。横浜市でも例外ではなく、ごみは増え続けており、もし、このまま何の対策も講じなければ、やがて現在の社会を継続することが難しくなり、次の世代に良質な都市環境や地球環境を継承することが不可能となってくるように危機感をもっています。また、発生したごみを処理・

処分するために、ごみ焼却工場の改修や最終処分場の整備が必要となり、多額の費用がかかることになります。

今年1月に、G30行動宣言を発表しました。
「平成22年度のごみ排出量を30%削減する」



という、きわめて具体的な目標を定め、350万横浜市民が、ごみの減量・リサイクルに全力をあげて取り組み、横浜から日本へそして地球に広がる「環境行動都市」の創造に向けた第一歩を踏み出すため、まず

自分が先頭に立って行動することを表明したものです。

この宣言は、ごみの焼却工場が建てられない、埋立処分場がなくなってしまったといったように、追い込まれてどうしようもなく

なってしまうから緊急事態宣言を発令して、それから取り組んでいくものではありません。本市においてはいずれ限界が来るわけであり、何の対策も講じなければ、追い込まれてしまう現状をあらかじめ認識し、私たちが前もって積極的に取り組むことによって、よりよい環境を創造していくことを選択した結果であります。

このプランでは、市民・事業者が徹底したごみの減量化・資源化を実践するために、わかりやすい目標を掲げるとともに、その上で全市民が参加・協力できる仕組みを、市役所としてしっかり作っていきます。

「ヨコハマはG30」推進本部 第1回会議 市長アピール

そして、市民の皆さんには、ごみに対する理解と関心を高めて、市民自らがごみの減量・リサイクルに向けた行動を実践できるよう、環境やごみに対するさまざまな情報を積極的に提供します。また、G30行動へ積極的に参加してもらい、自らの生活スタイルを今一度振り返り、ものを大切にする生活スタイルを身に付けていただくことにより、徹底的な分別を行い、可能な限り再利用・リサイクルを進めるなどの、具体的な行動を実践していただきます。

事業者の皆さんには、事業活動に伴って排出されるごみの削減とリサイクルに自ら積極的に取り組んでいただきたいと思います。また、ごみになりにくい製品を作り、製造した製品の修理や使用済み製品の回収リサイクルに取り組むなど、ものの製造や流通にかかわる事業者としての責任を果たしてもらいます。

市民生活をみますと、最近は環境保護の面からも、また、消費生活の面からも、「ごみになるものは買わない」、「直して使う」、「資源としてリサイクルする」というように、市民一人ひとりが自分の問題として取り組み始めています。しかし、こうした市民の取り組みに対して、行政の施策が追いついていなかったというのも現実であり、市民と行政

が目標を共有して、さらに協働の仕組みを作り、民に協力を求めながら施策を進めていくことが大切だと考えています。

平成15年度予算においては、G30行動を市民・事業者・行政が一体となって推進していくことによって、栄焼却工場の改修事業をストップすることとしました。また、ごみの最終処分場についても、長期的な計画を立てていくこととして、必要以上に重要な、貴重な海を埋め立てることのないようにしました。その結果は当然、財政負担の軽減にも大きく寄与することになります。

また、市民との協働の仕組みとして、目標

達成に向け、区や地域レベルにおいてごみ減量に取り組む「G30行動」の推進や、全18区での徹底した分別収集のモデル実施などに積極的に取り組みます。

G30は、横浜から日本へそして地球に広がる「環境行動都市」創造に向けた横浜市民の勇気ある挑戦であります。まず、私たち市職員も、率先して目標に向けて行動しましょう。そして、市民・事業者の皆さんとともに行動しましょう。G30を必ず成功させ、推進本部を中心に行動を起こしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

EVENT

ごみゼロ

●日時: 5月30日(金)

午後5時から

●場所: 新都市プラザ
(横浜駅東口地下)

ヨコハマは **G30**
スタートダッシュ!!

5月30日は「ごみゼロの日」にちなんで、消防音楽隊の演奏、クイズやゲームなどのイベントを開催します。クイズ・ゲームの参加者にはリサイクルグッズのプレゼントもあります。5時30分には中田市長による「G30(ジー・サンジュー)」のごみゼロスタートダッシュ宣言がおこなわれます。当日気軽に参加できますので、ぜひお立ちください。

問い合わせ: 環境事業局ごみゼロ推進課 TEL 671-2530 FAX 663-8199

●リサイクル掲示板●

センターリサイクル

●6月1日(日)

・泉区センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間: 午前9:00~12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所
TEL 803-5191

●6月7日(土)

・センターリサイクルinせや

瀬谷区 ニツ橋公園

時間: 午前9:00~12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
TEL 364-0561

●6月8日(日)

・かながわセンターリサイクル

神奈川区 反町公園

(神奈川区役所側)

時間: 午前10:00~午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ
TEL 413-3196

●6月15日(日)

・旭区センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間: 午前9:00~12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所
TEL 953-4811

提案

わたしたち横浜市資源リサイクル事業協同組合は 「横浜G30プラン」実現に向けて リサイクルをデザインし提案します

官公需適格組合認証取得
横浜市資源リサイクル事業協同組合
通称:リサイクルデザイン

提案

1

国際的なリサイクルの「環」

古紙や布などの再生資源は、「日本国内でのリサイクルに限界がきて資源が余ってしまい、今後さらにあふれることが予想される。一方、アジア諸国ではリサイクル資源が足りない」と言われているのをご存じでしょうか？

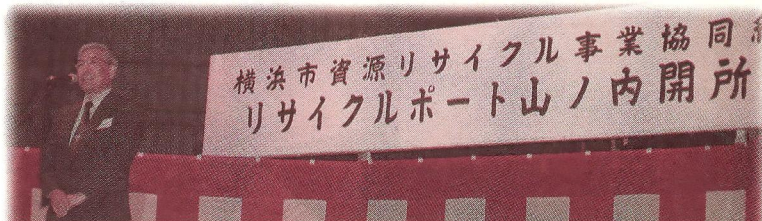
最近では野菜・衣服・電化製品などの多くのモノが外国で作られ日本に輸入されています。モノの流れが国際的なことで、国を超えてリサイクルされる資源（古紙や古布など）の流れを「国際静脈物流」と呼ぶようになりました。

横浜市内18区約145万世帯より発生するリサイクル資源は、「横浜G30プラン」の実現時には、紙だけでも今より

1年間に13万～20万トンは増えると言われています。この大量の資源をムダなく有効利用するためには、「国際静脈物流」への対応が必要になります。

はじめの提案は「リサイクルポート山ノ内」で、資源の国際循環に品質管理（横浜エコ・リサイクルポート構想）のもと資源の輸出を行い、アジア圏を単位とした資源循環システム（国際的なリサイクルの「環」）により再資源化する提案です。

横浜の港からリサイクル資源をアジア



諸国に届け、一国内リサイクルの限界に左右されないリサイクルの流れを創ります。

横浜から新たに増える資源を厳格な品質管理をおこない、アジア各国に向けて「廃棄物・ごみ」ではなく「資源・原料」として輸出することにより、国際的なリサイクルの「環」を創造し、アジア全体での環境にやさしい取り組みをめざします。

提案

2

徹底的なごみの分別と資源化を図る

「横浜G30プラン」では、様々なカタチで資源をリサイクルするための取り組みがおこなわれます。しかし、資源をリサイクルするには物流費用（リサイクル費用）が発生してしまいます。

ふたつめの提案は横浜市内151のリサイクルデザイナー（わたしたち資源回収業者や資源問屋です）が一同に集まって、資源の回収から再生までをおこなう提案です。

わたしたちリサイクルデザイナーの長年の経験とノウハウを活かし資源にすることで徹底的なごみの分別と資源化を図り、資源をムダなく効率的にリサイクルすることが出来ます。また管理を一極化することで余分な経費（管理費など）を削減し、極めて低廉なリサイクル費用で「横浜G30プラン」の実現が可能となります。

提案

3

環境にやさしい、きれいなまちづくり

リサイクルのプロフェッショナルであるわたしたちは、横浜のみならずに向けて「月刊リサイクルデザイン」を発行しています。今年1月通巻100号を迎えたこの情報誌は、様々な団体のご協力により現在では毎月21,000部を無料にて発行しています。

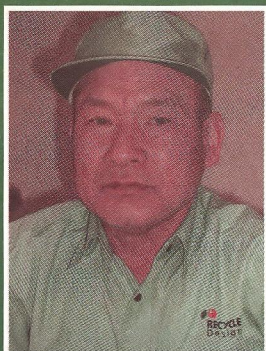
移動リサイクル教室「リサイクルデザイナー出前講師」では、昨年は市内の12の小中学校で約1,500名の子どもたちと一緒に「環境にやさしい取り組みとは何か」などを話してきました。また、リサイクルデザインサポータ

ー（組合協力会員）は市内に約5,000名をかぞえ「月刊リサイクルデザイン」・「リサイクルデザインサポーター's ミーティング」・「リサイクルデザインフォーラム」を通じ、わたしたちと一緒に「循環型都市よこはま」づくりをめざしています。これが**3番目の提案**です。

わたしたちは、この民の力のネットワークを活用し「環境にやさしい、きれいなまちづくり」を推進し「横浜G30プラン」の実現に向けて行動していきます。

350万横浜市民がごみの削減とリサイクルに全力をあげて取り組み、横浜から日本へ、そして地球に広がる「環境行動都市」の創造に向けた第一歩を確実にするため。そして横浜市政運営の基本理念の「民の力が存分に発揮される社会の実現」のために、わたしたち横浜市資源リサイクル事業協同組合は、これからもリサイクルをデザインし「循環型都市よこはま」づくりをめざして行動します。

今月の リサイクルデザイナー



プロフィール
1938年（昭和13年）
愛知県の農家に生まれる。
中学卒業後知り合いの紹介
で、先代の三ツ星商店に就
職、この道一筋50年のベ
テラン。子ども2人はすで
に結婚して自立し、現在は
仕事でもパートナーの妻と
二人住まい。

この道50年のベテラン、 後継ぎ息子のことで“ぽっぴこ”！

三ツ星商店代表 富田泰行さん

門のまわりには春の花々が咲き乱れ、奥様が丹精
された植木、鉢物、草花が一杯の玄関から、にこや
かに富田さんが現れました。今回は第三京浜港北イ
ンターチェンジに近い、富田さんの御自宅にうかが
いました。

就職先の屋号を引き継ぎ独立しました

富田さんが神奈川区二ツ谷町にあった三ツ星
商店に就職したのは、1954年（昭和29年）
4月2日のこと。当時は大学、高校への進学率
は低く、中学をでて働くのは珍しくはなかった
が、今と同じ就職難。愛知県から働きに来た「三
ツ星商店」はその頃から鉄、紙、粗大ごみなど、
なんでも扱う「屑やさん」であった。「日曜も
祭日も晴れていれば仕事だったね。雨ふりの日
が休日だった。休みになると朝から晩まで映画
を見に行ったもんだよ。」

転機は勤めていた三ツ星商店が事情で閉店す
ることになったときに訪れた。その時いた従業
員たちが屋号とお客さんを引き継ぐことになっ
たのだ。それまでのエリアを分割して、スムー
ズにそのままそれぞれが独立した。

古紙の集団回収が仕事量の8割を占めるという。
昨年、サラリーマンだった息子が仕事を継ぎたい
と言ってきた。「やってくれるって言うから、
まあね。でも素人だからなれるまで何年かかか
るでしょう。子どもの頃から親の仕事を見てる
といっても、自分の仕事となると違うから…。」
話す言葉とは裏腹に、嬉しさは隠せず顔は緩み
っぱなしの富田さん。

長年、妻といっしょに走らせたのは平ボデー
の4トントラックだが、息子が受け継ぐとなって、
巻き込型のパッカー車を購入した。「いやあ、
平ボデーに積み込むにはコツがいるんですよ。
素人がすぐには無理だから。」将来を見据え、
状況の変化に対応すべく、さまざまな商いの許
可証を得る準備も怠りない。

駆け込みで市民が捨てた粗大ごみを夜を徹して回収した

50年間で一番つらかったことは？と
聞くと、「粗大ごみのときだね。あの
ときはつらかった。」1988年（平成
元年）頃に、粗大ごみ排出の制度の切
り替えがあった。その時に駆け込みを
狙って、家具や大型の家電製品を捨て
る人が後を絶たなかったという。決め
られた日だけではなく、前出し、後出

しがあって、毎日片づけても片づけて
も終わらない、夜通し回収してもまた
出ている。しかも、「大型家電の処分
は有料なので、回収して持っていくと
こちらがお金を払って処分してもらっ
たんです。」そんな思いをしても、回
収することを生業としている身にとっ
ては、片づけないわけにはいかなか

たという。
市民の身
勝手さを痛
感したお話
でした。



びっくり その1

リサイクルボーイ・
トイレットペーパーは、
ごみが出ない芯なしロール。
しかも専用ホルダーでは
なくふつうのホルダーで
使えます。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー

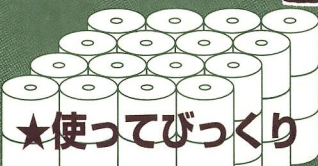


びっくり その2

手にするとずっしり重い。
それもそのはず、ふつうのトイレット
ペーパー（シングルで60m）の2倍
以上の長さ（130m）です。「使って
も使ってもなくなるんですね」
との声も寄せられるほど（もちろん
いつかはなくなるけど）。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。
バージンパルプのティッシュより
お肌にやさしい！愛用者の某リサイ
クルデザインの関係者いわく、「ティ
ッシュを使うと鼻の下がごわごわに
なるのに、このトイレットペーパーだと
大丈夫なの」（実話です）。



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格420円

注文受付は1ケース（48コ入=6コ入りパック×8）より
1ケース 3,360円（配送料込み）

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

今年も環境絵日記募集します

今年も小学生のみなさんから環境絵日記を募集します。
メインテーマは「ヨコハマG30大作戦」。
みなさんからの応募お待ちしております。



テーマ

1. 「わたしのG30大作戦」

自分で考えたごみを今より少しでも少なくするための
アイデアや自分でやってみた感想

2. 「我が家のG30自慢」

我が家で取り組んだ、ごみを減らすための活動

G 30 とは

横浜市内のごみの量を平成22年度までに、現在より30%減らし、未来の子どもたちに大切な地球をひきついでいこうという「横浜G30行動宣言」が、今年1月に市長より発表されました。「G」はローマ字の「Gomi（ごみ）」を表わし、「30」は、ごみを減らす目標値30%の「30」を表わします。

応募方法

用紙の表と裏の記入事項を書き入れてリサイクル組合までお送り下さい。
直接お持ちくださっても結構です。

画材

どんな画材でも構いません。

用紙(1人1枚)

小学校や子ども会などの団体でご応募いただく場合は、必要な応募用紙の枚数をご請求いただければお送りします。
詳しくは右記へお問い合わせ下さい。

配布開始

7月1日(火)

しめ切り

9月8日(月) 当日消印有効

審査結果の発表

10月19日開催の「リサイクルデザインフォーラム」にて発表

*学校やクラス、子ども会単位での応募也大歓迎!!
もちろん個人での参加もお待ちしています。
*応募は1人1枚。ご応募いただいた作品は返却できませんので、あらかじめご了承下さい。また、応募作品の著作権・使用権は横浜市資源リサイクル事業協同組合に帰属します。

環境絵日記へのお問い合わせ・送付先は…

〒220-0005

横浜市西区南幸2-16-22金属ビル3階

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL045-316-4050

FAX045-316-6050

mail@recycledesign.or.jp

環境絵日記

2002年第8回リサイクルデザインフォーラムの
環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。

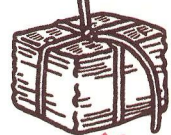


さいとう分小学校2年 岩さきみふゆ
8月12日 月曜日 天気 はれ
わたしのうちでは、おこめのときじを、はい水ごにながさないようにしています。おこめのときじは、川や海にながれると、お魚にわいからず。けれどお花には、えいようがたつぷりだそうです。わたしはまい日えいのお花におこめのときじをあげています。ここのなつは、おうちにうえてみたきゅうりやトマトにもあげてみました。とってもおいしく食べることができました。
わたしの力は、小さな力ですが、少しでも海や川がきれいになってお魚たちが元気にくらせるといいなとおもっています。そして、お花がいっぱいいて気持ちのいい日をあけたいです。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん



で
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 / ●横浜市金沢区・緑区・中区・都筑区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすずきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦4-10-17)
販売してくださるお店募集中!

※訂正とおわび No103の絵日記の小学校名に誤りがありました。ここに訂正しておわびします。誤・深谷小学校→正・深谷台小学校



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年4月現在
日経4/27

品名	買入価格		業者の売値	
	1キロ当たり		1キロ当たり	
新聞	***	0円	5.5~7円	
雑誌	**	0円	2.5~3円	
段ボール	**	0円	3~3.5円	
衣類くず	**	設定不能	0~1円	
アルミ缶	****	10~15円		

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。
取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。
事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

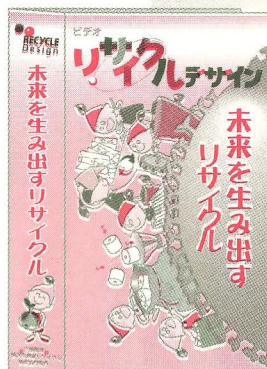
INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

来月号の特集は、「紙の分別、あなたは
どうしますか」です。リサイクルデザイン
サポーターのアンケート回答をまとめます。

桜も一段落しました。みなさんはお花見には
いかれましたか？このあいだ、家の近くの公園
でも桜が満開だったので立ち寄ったのですが、
そのときに気が付いたのがやはり花見見物客の
残っていたごみでした。ビールの空き缶やお
酒の空き瓶、お弁当の容器、その他いろいろ
ごみの分別やリサイクルなどが叫ばれている中、
家庭内だけでなく、家から一歩出た所でもリサ
イクルを気にしてみませんか？ また来年も綺
麗な桜の下でお花見ができるように。

編集室から

リサイクルデザインのビデオテープ 「未来を生み出すリサイクル」



このビデオは、暮らしの中
から出る資源物（古紙・空き
缶等）がどのようにリサイク
ルされているかを、一人の小
学生の目を通して見ていく様
子が描かれています。ぜひリ
サイクルの学習等にご活用く
ださい。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入のお問い合わせは下記まで。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050

FAX 045-316-6050

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カミン5F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横）・大船店●地酒 篠原屋（港北区篠原）●エコロジーショップエッセンス（中区麦田町）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●安田火災海上保険横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●自然彩食（名古屋）●まじょらむ（港北区綱島）●オーガニックスペースかれん（港北区大倉山）●カフェ杜（港北区日吉）●きまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●横浜国際ホテル（西区南幸）●さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生生活協同組合大学館店・工学部店

月刊 リサイクルデザイン No.105

発行日：2003年5月25日

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人：秋元康男

〒220-0005

編集人：工藤健一

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

編集室：戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

制作：(企)エコ・アド

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

印刷：オリジナルプランニング

栗原清剛・大内 敦

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK（大豆インク）を使用しています。

